

令和2年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 静岡県
 農業委員会名： 西伊豆町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年3月31日現在)

1 農業の概要

	田	畠				計
			普通畠	樹園地	牧草畠	
耕地面積	45	94	-	-	-	139
経営耕地面積	2	9	8	1	-	11
遊休農地面積	7	1	1	0	0	8
農地台帳面積	95	207				302

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	201
自給的農家数	173
販売農家数	28
主業農家数	7
準主業農家数	2
副業的農家数	19

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	50
女性	22
40代以下	8

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	8
基本構想水準到達者	3
認定新規就農者	1
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 5 年 5 月 15 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	10	10
認定農業者	—	3
認定農業者に準ずる者	—	1
女性	—	0
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	3	3	1

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	141ha	38.52ha	27.32%
課 題	農地が分散しており、作業効率が悪いため集積の課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
39.52ha	39.06ha	0.5ha	98.84%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点での担当者へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担当者が自作又は利用していた農地のうち、担当者に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	8月から11月 農地利用状況調査 11月から1月 農地利用意向調査 通年 担い手への農地斡旋
活動実績	8月から11月 農地利用状況調査 11月から1月 農地利用意向調査 通年 担い手への農地斡旋

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	担当不足の現状に対して、少々高めの目標設定であった。
活動に対する評価	地域の担当不足しており、集積率が伸びなかった。 担当の規模拡大に向けての支援や、担当者増加への積極的な取組が必要である。

III 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	H29年度新規参入者数	H30年度新規参入者数	R01年度新規参入者数
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	H29年度新規参入者が取得した農地面積	H30年度新規参入者が取得した農地面積	R01年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	0ha
課題	担い手となりうる者の町外流出が多いことが課題となっている。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②／①×100)
1経営体	0経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④／③×100)
0.3ha	0ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	通年 窓口での就農相談 通年 新規参入関連制度の周知
活動実績	11月14日 新農業人フェア大阪会場へのWeb出展 通年 窓口での就農相談 通年 新規参入関連制度の周知

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	1経営体の参入を目標としたが目標達成できなかった。 今後も1経営体の参入を目標とする。
活動に対する評価	イベントへの参加や就農相談、新規参入関連制度の周知等を行った。 引き続き幅広く活動を行う。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	141ha	5.6ha	3.97%
課 題	町外在住の所有者が多く連絡が困難であり、解消の課題となっている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 平成2年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
1ha	0.2ha	20%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活 動 計 画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用状況調査	13人	8月	11月	
	農地の利用意向調査	調査方法 農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査			
	その他の活動	調査実施時期:11月～1月、調査結果取りまとめ時期:3月～7月			
活 動 実 績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		13人	8月	11月	
	農地の利用意向調査	調査実施時期 11月～1月	調査結果取りまとめ時期	3月～	
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数: 38筆	調査数: 0筆	調査数: 0筆	
		調査面積: 1.5ha	調査面積: 0ha	調査面積: 0ha	
	その他の活動	遊休農地所有者への指導 農地の適切な管理を啓発する放送の実施			

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	高齢化による離農者が多く、遊休農地が増加し目標が達成できなかった。
活動に対する評価	概ね計画通りに活動が実施できたが、目標達成に向け、より一層の活動が必要である。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	141ha	0ha
課 題		

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	通年 農地パトロールの実施 通年 農業委員会で情報交換
活動実績	通年 農地パトロールの実施 通年 農業委員会で情報交換
活動に対する評価	違反転用はなかった。今後も継続して違反転用の抑止に努める。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 5件、うち許可 5件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	農業委員会定例総会時に現地調査を実施。譲受人の宮農状況については農業委員からの聞き取りを実施。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	関係法令、審査基準に基づき審査している。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数		0件	
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数		0件	
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録を作成し、閲覧希望者に公開している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 18日	処理期間(平均)	15日
	是正措置				

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 4件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	農業委員会定例総会時に現地調査を実施。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	関係法令、審査基準に基づき審査している。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録を作成し、閲覧希望者に公開している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 28日	処理期間(平均)	25日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	1 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0 法人
	提出しなかった理由	登記簿上の資産のみ現存しており、生産活動はしておらず、事務所も存在しない状況のため。
	対応方針	資産の処分を待つ。
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0 法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容		
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 件	公表時期 令和 年 月
		情報の提供方法:	
	是正措置		
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 件	取りまとめ時期 令和 年 月
		情報の提供方法:	
	是正措置		
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 ha	
		データ更新:年1回、住民基本台帳データ・土地データとの整合を行っている。	
		公表:全国農地ナビで公開	
	是正措置		

※他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめるこ。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

	〈要望・意見〉 要望・意見なし 農地利用最適化等に関する事務
	〈要望・意見〉 要望・意見なし 農地法等によりその権限に属された事務

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口での公表

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 0 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口での公表